

WAKA-P

和歌山県文化情報誌 ワカピー

関西から

文化力
POWER OF CULTURE

2015年
1・2月号

Vol. 59

Wakayama Culture and Arts **POWER**

濱口梧陵 人命尊重の精神 命と暮らしを守る 〔郷土の偉人の足跡を辿る〕

Contents

アーティストメッセージ…2

和歌山県文化表彰受賞者…3

イベントガイド…4・5

郷土の偉人の足跡を辿る…6

輝く、和歌山人…7

カルチャーインフォメーション…8

稲むらの火の館（広川町）

濱口梧陵記念館と津波防災教育センターからなる施設。来たるべき時に備え、地震と津波の知識を学び、災害から命と暮らしを守る応急・復旧・予防の知恵を身につけます。

artist message

アーティスト メッセージ

Profile

ピアニスト

辻井伸行さん

つじい のぶゆき

東京生まれ、2009年6月に米国テキサス州フォートワースで行われた第13回ヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクールで日本人として初優勝して以来、国際的に活躍している。

11年11月にはカーネギー・ホールの招聘でリサイタル、12年5月にはアッシュケナーズの指揮でロンドン・デビュー、7月にはゲルギエフの指揮でサンクト・ペテルブルグにデビュー。作曲家としても注目され、映画《神様のカルテ》で第21回日本映画批評家大賞を受賞。09年、文化庁長官表彰(国際芸術部門)。CDはエイベックス・クラシックスから、最新盤「ラ・カンパネラ〜ヴィルトゥオーゾ・リスト!」が発売中。1月31日公開の映画「マエストロ!」のエンディングテーマを作曲。



Photo:Yuji Hori

ショパン、ベートーヴェンなどの名曲で成長を感じていただけるコンサートに

3月19日(木)に、いまや世界的に活躍される辻井伸行さんの日本ツアー《熱情》が和歌山県民文化会館大ホールで開催されます。コンサートに先駆けて、音楽への思い、見どころをお聞きました。

Q ピアノをはじめたきっかけは何ですか?

A 両親は音楽家ではなく、音楽の専門教育も受けていませんでしたが、クラシックは胎教に良いというイメージで、クラシックのCDを聴いていたようです。赤ん坊の時に母がショパンのピアノ曲のCDをかけてくれましたが、僕が生後8か月の時には「英雄ポロネーズ」の、演奏家の違いを聴き分けていたようで、2歳の時におもちゃのピアノを買ってくれました。誰に教えられたわけでもなく、

クリスマスの頃に、母の歌に合わせてピアノを演奏し始めたそうです。

Q クラシック音楽の魅力を感じたのはどのようなきっかけなのでしょう。また、音楽の道に進もうと思われたのはいつごろのことですか?

A ピアノをはじめてしばらくの間はクラシックかジャズかポピュラーか、という区別はしていなかったと思いますし、自分で即興演奏して遊んだりしていました。8歳の時にモスクワ音楽院に行く機会があり、そこでカステルスキーさんというピアノの先生に聴いて頂いたところ、才能があると言われ、クラシックのピアニストに進むことを勧められました。

Q 今回のコンサートツアーへの思いをお聞かせください。

A ショパン、リスト、ベートーヴェン、みな、ピアノのヴィルトゥオーゾでもあった大作曲家です。ショパンとリストは同じ時代の作曲家

で、お互いに友人でもありました。繊細で抒情的なショパン、豪華で華麗なリスト、対照的な曲を弾きます。後半のベートーヴェンのうち、《悲愴》はベートーヴェンが28歳になった年の作品です。クライバーン・コンクールの優勝後のコンサートで弾いたことがあります。僕もベートーヴェンが作曲した年齢に近くなってきましたので、もう一度見直して取り組みたいと思います。《熱情》は2009年のクライバーン・コンクールで演奏した思い出の曲です。あれから5年余り経ちますので、お客様に成長を感じて頂ければ嬉しいです。

それから、僕は食べることが大好きです。コンサートツアーでのもう一つの楽しみは、その土地、その時期ならではの食べ物や飲み物を味わうことです。今からとても楽しみです。

Q 最後にコンサートにきてくださる皆様へのメッセージをお願いします。

A みなさんご存じの名曲も多いと思います。心をこめて演奏しますので、どうぞ聴きにきてください。



3/19

大和証券グループ presents

辻井伸行 日本ツアー《熱情》

※好評につき入場券は完売いたしました。

■開演／午後6時30分(開場午後6時) ■場所／和歌山県民文化会館大ホール

■入場料金／S席6,800円、A席5,800円、B席4,800円 ※未就学児のご入場はお断りいたします。

■プログラム／ショパン：舟歌、ノクターン第1番、ノクターン第2番

リスト：コンソレーション第3番、メフィスト・ワルツ第1番

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第8番《悲愴》、ピアノ・ソナタ第23番《熱情》※やむを得ない事情により曲目・曲順等が変更になる場合がございます。

■お問い合わせ／和歌山県民文化会館 TEL.073-436-1331



平成25年度 和歌山県文化表彰受賞者



和歌山県文化表彰とは、和歌山県の文化向上・発展に
顕著な功績のある人たちに贈られる賞です。

【平成25年度和歌山県文化奨励賞】

ピアニスト

村田 千佳 (むらたちか)さん

和歌山市出身。東京藝術大学音楽部附属音楽高等学校を経て、同大学、同大学院修了後、ウィーン国立音楽演劇大学大学院へ。在学中に数々の国際コンクールに出場。多くの受賞歴を誇るほか、CDデビューも果たす。平成19年に帰国後、一流アーティストを迎えての共演など、自主企画を展開。母校と聖徳大学で後進の指導にも携わる。



卓越した芸術性と豊かな発想力で、聴衆を引きつけるピアニスト・村田千佳さん。現在は、自身の母校でもある東京藝術大学のほか、聖徳大学で教鞭を執り、後進の指導にも携わっています。「2歳半からピアノに触れ、3歳頃にはレッスンに通っていたのを覚えています。とにかく楽しくて、ずっとピアノを弾いている子どもでした」。和歌山市でも海辺の毛見で生まれ育ち、遊びはもっぱら自然の中。高校進学で東京藝術大学附属高等学校を選び、その後渡欧して、東京在住となった今でも、帰省時にはたびたび海を見に行くと、村田さんは言います。

「本当の意味で音楽の転機を迎えたのは、東日本大震災の時。初めてピアノが弾けない時期があり、音楽によって癒される瞬間がありました。どんな音楽もさまざまな時代を乗り越え、生活に密着し、人と共に進化してきました。今も昔もこれからも、音楽とは普遍的なもの。その力強さを、時代を越え、国境を越えて伝えていければと思います」。中でも親密な音づくりの世界を楽しめるアンサンブルは、村田さんがもっとも得意とするところ。和歌山でも数多くのコンサートを実施。県内の小中学校では子どもを対象にしたアウトリーチを行い、身近な音楽としてのクラシックを多くの人に届けています。



3月8日(日)午後1時半から和歌山県民文化会館で、村田さんが出演する花王ファミリーコンサートin和歌山「ゼッパール・トリオリサイタル」が開催されます。

ストリートダンサー

NOBBY (ノビー)さん (本名:東 宣尚 あずまのぶひさ)

昭和61年和歌山市出身。中学3年生でダンスをはじめ、平成16年にダンスチームを結成。数々のコンテストでその名を刻み、同24年にはストリートダンス世界大会に日本代表として出場、見事ベスト4入りを果たす。現在、全国のステージで活躍する一方、市内にダンススクールを開設。ダンサーを世界に輩出するため会社の運営にも携わる。



「とても稀な“ストリートダンサー”としての受賞でした。大変光栄で、全国のダンサーからもお祝いの言葉をいただき、業界を盛り上げる上で、また新しいストリートダンスの一面をみてもらえると喜んでいます」。

そう話すのは、和歌山から世界へを合言葉に、ダンサー・NOBBYとして活躍する東 宣尚さん(28歳)。現在、和歌山市内のダンススクール「HOMIES」で次代を担う子どもたちにダンスを指導。ストリートカルチャーのルールを敷くために「Local Hero Co.」の代表も務めています。

そもそもストリートダンスは、自由に自分を表現する手段としてアメリカで生まれたカルチャー。「容姿や体格、人種もまったく関係なく、自分の能力ひとつで一番になれるもの。より強い気持ちと技術が人を引きつけ、国境を越え、一個人として認められるわけです。それを世界に出て実感しました」。その経験を子どもたちに伝えるため、スクールにも積極的。チームワークや表現力などダンスの本質を通して、社会で生きる力を教えています。「私たちの大人の影響力をもちに受ける世代だからこそ、生きる喜びや学ぶ楽しさをダンスに凝縮し、教育とエンターテインメントを合わせた“エデュテインメント”をテーマに、責任感を持って子どもたちに接しています」。



現在、中学校ではダンスが必須。NOBBYさん自身が先生たちにレクチャーするなど、和歌山におけるダンスの普及・発展にも寄与し、地域活性化にも大きく貢献。

1/11

オーケストラ探検コンサート

楽器紹介や指揮者体験また実際に楽器を演奏したりと間近で体験できます。来場された皆さんが参加できる、とても楽しい体験型の演奏会です。

※和歌山県民文化会館大ホールに変更となりました



PROFILE サロンオーケストラ・ジャパン

1990年、小林玄人(コンサートマスター/ベルリン留学)により設立。小編成ながら、子供たちにクラシック音楽をわかりやすく、楽しんでもらおうとの思いで結成された室内オーケストラです。

- 開演／①午前11時30分、②午後2時、③午後4時(開場は各30分前) ■場所／和歌山県民文化会館大ホール
- 入場料金／1,000円(全席指定)
※3歳以上はチケット必要。3歳未満のお子様は保護者1名につき。1名まで膝上での鑑賞は無料。
- 出演／サロンオーケストラジャパン(トークとヴァイオリン・クロード小林)
- プログラム／美しく青きドナウ、天国と地獄 他

2/15

第9回音の杜コンサート

和歌山県新人演奏会出演後も演奏活動を積極的に継続され活躍中の方々によるコンサートです。クラリネット1人、ピアノ2人、声楽1人の出演により多彩な演奏をお楽しみいただけます。

- 開演／午後2時(開場午後1時30分) ■場所／和歌山県書道資料館大ホール
- 入場料金／一般1,000円、高校生以下500円(全席自由)
- 出演／クラリネット：南方美穂(和歌山市出身、第42回和歌山県新人演奏会奨励賞受賞)
ピアノ：小谷臣香(和歌山市出身、第26回和歌山県新人演奏会)
声楽：寒川さがみ(日高川町出身、第41回和歌山県新人演奏会奨励賞受賞)
ピアノ：碓 理早(美浜町出身、第37回和歌山県新人演奏会奨励賞受賞)

2/28

「稲むらの火」より161年
写真と朗読による構成劇 忘れない!

1820年(文政3年)の「稲むらの火」で知られる濱口梧陵は、紀州広村(現在の広川町)で生まれました。安政の大地震時、稲むらに火を放ち、津波から多くの村人の命を救った功績は、津波防災の象徴として広く語りつがれています。この催しは阪神淡路大震災から東日本大震災、紀伊半島大水害などを含めた写真をスライドにし、劇団RAKUYUや和歌山放送朗読教室メンバーらが詩や稲むらの火の物語を朗読します。追憶と祈りの集いを主題とした、写真と朗読による構成劇です。

- 脚本・監修／栗原省 ■演出／松本こうじ
- 開演／午後2時30分(開場午後2時) ■場所／御坊市民文化会館大ホール
- 入場料金／一般1,000、(当日1,300円)、小・中学生無料招待(限定枚数)
- ※詳細はお問い合わせください。1月下旬から販売(予定)



昨年のプログラムから

県内の文化・イベント情報が検索できます

■わかやま文化情報館 <http://www.wacaf.or.jp/search/>

県内で開催される文化・イベント情報をインターネットで検索できる「わかやま文化情報館」は、地域・ジャンル・開催年月を指定することにより、該当するイベント情報が一覧表で表示され、詳細を見ることが出来ます。

「わかやま文化情報館」にイベント情報の掲載を希望される主催者の方は、情報館の「イベント情報の掲載依頼」フォームに必要事項を掲載の上、送信してください。イベント情報には画像を1枚掲載できます。JPEG等の画像データはフォームに添付して送信できます。イベントのパンフレット・チラシ・案内はがき等の印刷物があれば、別途財団まで郵送ください。

掲載の可否につきましては、いただいた情報を検討のうえ決定します。詳細については、右記までお問い合わせください。



3/1

澤和樹指揮 紀尾井シンフォニエッタ東京 和歌山公演

昨年、10月13日(月・祝)に開催予定していましたが、台風19号の影響により3月1日(日)に日程を延期して開催します。この室内オーケストラのアドバイザーを務めている澤和樹氏指揮で国内外の第1線で活躍する名手たちと、最高のソリストとともに贈る、和歌山だけのプレミアムコンサートです。

PROFILE 指揮 澤和樹(さわ かずき)

4歳よりヴァイオリンを始める。1979年、東京藝術大学大学院修了。「安宅賞」受賞。イザイ・メダル、ボルドー音楽祭金メダル受賞などヴァイオリニストとして国際的に活躍。2004年、和歌山県文化賞受賞。現在、東京藝術大学音楽学部教授、音楽学部長。紀尾井シンフォニエッタ東京には1995年の創立以来15年に渡ってコンサートマスターとして在籍。現在、同団アドバイザー。



PROFILE クラリネット コハーン・イシュトヴァーン

ハンガリー・ブダペストで、音楽一家の下に生まれる。13歳でバルトーク音楽院(高等学校)英才教育コースに入学。2013年ハンガリー国立リスト音楽院(大学)卒業。音楽院在学中カルリーノ国際音楽コンクール(イタリア)第1位など、国内外計15のコンクールで優勝・入賞する快挙を成し遂げる。2013年7月に活動拠点を日本に移し、演奏活動を行っている。現在、特別特待奨学生として東京音楽大学大学院に在学中。



- 指揮／澤和樹 ■クラリネット／コハーン・イシュトヴァーン ■演奏／紀尾井シンフォニエッタ東京
- プログラム(予定)／エルガー：序奏とアレグロ、モーツァルト：クラリネット協奏曲イ長調K622、ベートーヴェン：交響曲第7番イ長調Op.92
- 開演／午後2時(開場午後1時30分) ■場所／和歌山県民文化会館大ホール
- 入場料金／S席(1F)5,000円、A席(2F)3,000円(全席指定) ※学生割引あり ※未就学児入場不可
- ※10月13日の入場券をお持ちの皆様はその入場券で3月1日(日)にご入場できます

3/14

けんぶん能

能、狂言、仕舞など様々な伝統芸能をお楽しみいただくことができます。この機会にぜひご鑑賞ください。能は十四世紀半ばのころ観阿弥、世阿弥の時代から継承された仮面による楽劇。極度に簡素化された様式の中で、人間の思想、感情の機敏を繊細な感覚で表現する能の技術や形式には、きわめて優れた芸術的価値があります。

※和歌山市民会館大ホールに変更となりました



- 出演／仕舞 嵐山(あらしやま) 小林慶三
- 狂言 察化(さっか) 茂山千五郎
- 能 海士(あま) 片山九郎右衛門
- 開演／午後1時30分(開場午後1時) ■場所／和歌山市民会館大ホール ■入場料金／前売券5,000円、当日券5,500円(全席自由)

3/22

第9回和歌山県民俗芸能祭

第9回和歌山県民俗芸能祭は田辺市(紀南文化会館大ホール)で開催します。県内各地で地域の人々によって伝承されてきた民俗芸能をそれぞれの公開場所から舞台上へと場所を移して披露します。

出演はかつらぎ町から天野の御田祭(天野の御田祭保存会)、海南市から塩津のいな踊(塩津いな踊保存会)、日高川町から寒川祭(寒川祭保存会)、地元田辺市から住吉踊(住吉踊保存会)、大瀬の盆踊(大瀬太鼓踊保存会)、芳養八幡神社の秋祭(芳養八幡神社秋祭保存会)の6団体が出演します。

- 出演団体／【住吉踊】住吉踊保存会(田辺市)
- 【天野の御田祭】天野の御田祭保存会(かつらぎ町)
- 【大瀬の盆踊】大瀬太鼓踊保存会(田辺市)
- 【塩津のいな踊】塩津いな踊保存会(海南市)
- 【芳養八幡神社秋祭】芳養八幡神社秋祭保存会(田辺市)
- 【寒川祭】寒川祭保存会(日高川町)
- 開演／午後1時(開場午後0時30分) ■場所／紀南文化会館大ホール ■入場無料／整理券(1月下旬から配布予定。全席自由)
- 整理券配布場所／紀南文化会館、田辺市教育委員会文化振興課、上富田文化会館、御坊市民文化会館、日高川町交流センター、海南市民交流センター、粉河ふるさとセンター、かつらぎ総合文化会館、県立橋本体育館、和歌山県民文化会館
- 郵送による申し込み方法／往復はがきに民俗芸能祭観覧希望と明記し、住所、氏名希望人数(1枚あたり4人まで)を明記の上、下記へお申し込みください。3月15日(日)消印有効
- お問い合わせ／和歌山県民文化会館 TEL.073-436-1331

主催 和歌山県

お問い合わせ

(一財)和歌山県文化振興財団(和歌山県民文化会館)
〒640-8269 和歌山市小松原通1-1 TEL.073-436-1331 FAX.073-436-1335

郷土の偉人の足跡を辿る

和歌山県内に残る偉人の足跡をシリーズで辿ります。



濱口梧陵記念館に併設される「津波防災教育センター」

命と暮らしを守る人命尊重の精神

今、小学5年生の教科書に掲載される「稲むらの火」。大地震の後、津波の来襲に気づき、危険を知らせるために大切な稲むらに火を放って多くの村人を救った感動の実話。村人を救った功績は広く語り継がれています。物語の舞台は、安政の南海地震(1854年)で津波の被害をうけた有田郡広川町。町の名士であり実業家でもあった濱口梧陵は、迫り来る大津波から村人を誘導するために火を放った機転だけでなく、すぐさま、私財をなげうって救済と復興対策に奔走し、多

くの人を大災害から守り抜きました。

濱口梧陵記念館と津波防災教育センターからなる「稲むらの火の館」は、梧陵の偉業と精神、教訓を学び、防災の知識を心と体に備える施設。館内では、防災体験室や3D津波映像シアターのほか、災害にあった実際の映像などを通してその脅威を実感。来るべき地震津波から命と暮らしを守るため、東日本大震災の経験とともに、梧陵から人命尊重の精神と応急・復旧・予防の3つの知恵を学び、生かしましょう。

お問い合わせ ● 稲むらの火の館(やかた) ☎0737-64-1760



A/津波防災教育センターの約16mの津波実験水槽では、津波の伝わり方を学習できます。 B/稲むらの火展示室では、応急、復旧、予防の手本が示されています。 C/明治30年に小泉八雲が梧陵の逸話をヒントにして書いた物語「A LIVING GOD」も展示。 D/広八幡神社は、実際に梧陵が稲むらの火で村人を誘導した高台の避難場所。

濱口梧陵

はまぐち ごりょう



左/濱口梧陵(1820~1885) 上/災害後、梧陵は私財を投じて広村堤防を完成しました

故郷のために私財を投じ、身を粉にして奔走

History

1820年(文政3年)、広川町で生まれた梧陵。12歳で本家の養子となり銚子へ。家業であるヤマサ醤油を継ぎ、当主として七代目・濱口儀兵衛を名乗りました。安政の南海地震は、ちょうど梧陵が村に帰郷していた時。突如地震が発生し、大津波が村を襲いました。梧陵は収穫したばかりの稲

むらに火を放ち、村人を誘導。災害後も莫大な私財を投じて、故郷の復興に励みます。またその優れた才能は教育の面でも発揮され、現在の耐久高校の前身でもある「耐久社」を創設。明治12年には、和歌山県議会初代議長に選任され、政治家としても活躍しました。

輝く、 和歌山人

和歌山県内をフィールドに、
文化、スポーツなど
あらゆるジャンルで活躍する人を
紹介します。



映画を奏でる音楽会in海南 実行委員会会長

土井 知子さん DOISATOKO

PROFILE

どい・さとこ

●2012年に大阪から出身地の海南市下津町にUターン。「地元で映画や音楽などのアートに触れる機会をつくりたい」という想いから“映画を奏でる音楽会in海南”を開催。現在はデザイナー、染色作家としてのアーティスト活動に加え、学童保育の指導員としても活躍しています。



「映画音楽を生演奏で。魅力あるコンサートを開催！」

— 映画を奏でる音楽会とは？

土井 ● 映画に登場する音楽を生演奏で楽しんでもらうコンサートで、毎年冬に開いています。会場は海南市下津の“ふれあいホール”で、昨年まではクラシック篇としてピアノやヴァイオリン、チェロなどの演奏で懐かしの名曲を楽しんでもらいました。比較的、年配の来場者が多かったのですが、予想より多くの方が足を運んでくださって手応えを感じました。

— 実行委員会設立のきっかけは？

土井 ● 立ちあげたのは2012年で、メンバーは映画や音楽好きな海南市民を中心に10名です。海南市は催し物が少ないので、それなら自分たちでやってみようと思ったんです。まちづくりイベントに助成する市の事業に応募して、採択していただきました。“ふれあいホール”をもっと活用したいと思ったのも動機のひとつです。

— 今回のアピールポイントは？

土井 ● 今年はクラシックではなく、オールジャンルでカジュアルな感じですよ。幅広い年代の方に喜んでもらえるように、曲の選択にもこだわりました。「ひまわり」や「シャレード」のほか、「アメリカ」や「バグダッド・カフェ」の曲も予定しています。女性7人のアコーディオン楽団や、高倉健さん主演「単騎、千里を走る。」のメイキングテーマ曲を作曲した、海南市出身の松尾泰伸さんの演奏もありますよ。

— 人気のプチカフェとは？

土井 ● 海南市にある「3時のかんづつ屋さん」などのお菓子や、コーヒーを味わえるカフェを館内に設置します。芸術や文化に関心を持つ人たちが集まって、交流する場になればいいなと思っています。また、託児所も用意していますので、子育て中のお母さんたちにぜひ利用してもらいたいです。

— これからの展望は？

土井 ● 内容を変えながら、クオリティの高い音楽会を続けていきたいです。「海南で開催してくれて嬉しいわ」という声も多くて、やり甲斐を感じています。映画や音楽を通して、日常に文化的なエッセンスを取り入れてもらえるように。そして豊かで潤いのあるまちを、積極的につくっていききたいですね。

映画を奏でる音楽会in海南 Vol.3

●開催/2015年1月25日(日)
●会場/海南市民交流センター(ふれあいホール) ●開演/13:30 ●出演/AYURI(ピアノ・チェロ)+石川智(パーカッション)、リュクサンブール公園(アコーディオン楽団)、石橋敬三(マンドリン)ほか ●料金/大人前売2000円、大人当日2500円、ペア3500円(前売のみ2名で利用できます。)、中・高・大・専門学生1000円、3歳~小学生500円※全席自由 ※託児希望者は1月15日まで予約を(500円) ●問い合わせ/090-4496-1778(ドイ)、090-3281-0969(ナカサト) ●チケットは海南市民交流センター、和歌山県民文化会館ほかで発売中



藤森静雄《夜のピアノ》(公刊『月映』Ⅱ)1914年
木版(機械刷り)、紙 宇都宮美術館

和歌山県立近代美術館便り

『月映(つくはえ)』展 田中恭吉・藤森静雄・恩地孝四郎 一木版にいのちを刻んだ青春

和歌山市出身の田中恭吉と、その盟友・恩地孝四郎、藤森静雄の三人が独自の表現を世に問うた詩と版画の作品集『月映』が刊行されて100年を迎えることを記念し、その全貌を振り返りま

す。公刊『月映』を全冊展示するのはもちろん、現在では1部しか残されていない「私輯『月映』」と呼ばれる私家版や、油彩画、ペン画など貴重な関連作品も多数展示します。

【会期】2015年1月17日(土)~3月1日(日) 【開館時間】9時30分~17時(入場は16時30分まで)
【観覧料】一般510円、大学生300円 【関連事業】講演会、ミュージアムトーク等を予定しています。
※イベントの日程や内容について、詳しくは当館ホームページまたは、お電話でお問い合わせください。※会期中、展示替えがあります。 ■和歌山県立近代美術館ホームページ/ <http://www.momaw.jp/> ■お問い合わせ/TEL.073-436-8690

カルチャーインフォメーション

万葉館

☎073(446)5553

和歌山県歌人クラブ短歌作品展 ふるさとを詠う

■1月15日(木)～3月29日(日)

古くから歌に詠まれてきた和歌山。そのような地に住む、短歌を愛してやまない歌人クラブメンバーが「ふるさとを詠う」をテーマに、作者自身が色紙や短冊に書いて展示します。



☎和歌山市和歌浦南3丁目1700
☑9:00～17:00(入館は16:30まで、最終日は15:00まで) ☎無 ☎入館無料

和歌山県立博物館

☎073(436)8670

企画展 描かれた紀州

■1月24日(土)～3月8日(日)

文人たちが旅先で描いた風景や城下町絵図、災害の様子を描いた図など、様々な目的で紀州を題材とし描かれた近世・近代の作品を中心に、紀州の歴史とその魅力を紹介します。



紀州新宮城絵図(館蔵)

☎和歌山市吹上1-4-14 ☑9:30～17:00(入館は16:30まで)
☎月曜(祝日の場合は次の平日) ☎企画展:一般280円、大学生170円

和歌山県立紀伊風土記の丘

☎073(471)6123

冬期企画展

谷井コレクション展 ～考古学者・谷井済一の軌跡～

■1月14日(水)～2月15日(日)

明治時代末期から大正時代にかけ、考古学の最前線で活躍していた和歌山出身の考古学者、谷井済一の収集した文献や考古遺物などを公開します。



☎和歌山市岩橋1411 ☑9:00～16:30(入館は16:00まで)
☎月曜(祝日の場合は次の平日) ☎一般190円、大学生90円

和歌山県立近代美術館

☎073(436)8690

特集展示 コレクション/ドネーション

■開催中～2月22日(日)

何人もの個人コレクターからの寄贈(ドネーション)によって充実してきた美術館のコレクションの魅力をご紹介します。



特集展示 コレクション/ドネーション
西田潤(No.3-A 絶)2001年

☎和歌山市吹上1-4-14 ☑9:30～17:00(入館は16:30まで)
☎月曜(祝日の場合は次の平日) ☎一般340円、大学生230円

和歌山県立自然博物館

☎073(483)1777

企画展 進撃のモササウルス

■2月1日(日)～2月28日(土)

有田川町の鳥屋城山から発見されたモササウルスの化石。発見から9年、岩の中に隠されていた全貌が明らかになってきました。クリーニングを完了した最新のモササウルスの化石などを展示します。



☎海南市船尾370-1 ☑9:30～17:00(入館は16:30まで)
☎月曜(祝日の場合は次の平日) ☎一般470円

郷土の歴史と文化が学べるスポット

県内の郷土の歴史と文化が学べる施設をシリーズで紹介します。

男山焼会館

☎0737(64)0881

作る・使う楽しみを味わう陶芸体験もできる

「南紀男山焼」は、1827年崎山利兵衛によって開かれ、紀州十代藩主徳川治宝の時代大いに発展、優れた作品が世に送り出されました。館内では当時の作品を多数展示するほか、事前予約をすれば、気軽に陶芸体験(有料)ができます。



☎有田郡広川町大字上中野88-2 ☑9:00～17:00
☎月曜・火曜(祝日は開館) ☎無料

1/20(火)

華麗なるショパン
フランソワ・デュモン
ピアノリサイタル

- プログラム(予定)/エチュード「黒鍵」
エチュード「革命」、幻想即興曲 他
■開演/午後6時30分 ■場所/和歌山県民文化会館大ホール
■入場料/3,500円※全席指定

※和歌山県民文化会館大ホールに変更となりました

■主催・お問い合わせ/(一財)和歌山県文化振興財団 TEL.073-436-1331



和歌山県民文化会館小ホール貸出中止のお知らせ

和歌山県民文化会館は、緊急工事(アスベスト除去)に伴い平成26年12月17日(水)より約6ヶ月の間、小ホールの貸出しを中止しています。

利用者の皆様方には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

なお、昨年夏に濃度測定を実施した結果、アスベストの飛散は確認されておらず、健康への心配はございません。

お問い合わせ/和歌山県文化国際課 TEL.073-441-2050
和歌山県民文化会館 TEL.073-436-1331

Wakayama

和歌山県文化情報誌 ワカピー Wakayama Culture and Arts POWER

【発行日】平成27年1月

【発行】和歌山県

【編集・問い合わせ】一般財団法人 和歌山県文化振興財団(ワカフ) 〒640-8269 和歌山市小松原通1-1(和歌山県民文化会館内)

☎073(436)1331 FAX.073(436)1335

【ホームページアドレス】http://www.wacaf.or.jp